

[例]

「\$yyyy-\$mmm-\$dd \$hh-\$nn-\$ss.PNG」と指定すると、
「2005-Feb-03 23-08-15.PNG」というファイルが作成される。

・COPY<ファイル名>

指定したファイルをコピーします。ファイル名にフォルダー名が含まれない場合、「¥UI-VIEW32」フォルダーの中をさがします。

・EXIT

UI-VIEW32の終了。

・RESTART

UI-VIEW32の再起動。

・RUN<プログラム名>

<プログラム>の起動。 <例> 「RUN C:¥RIG¥FREQ.EXE 」

・SNAPSHOT<数>

最低<数>局が「Station List」に存在したなら、「Station List」の「Snap Shot」を保存します。(「Main Screen」→「Station」→「Snap」の機能。)

もし<数>の記述が無い場合は、設定したスケジュールのタイミングで「スナップショット」が常に保存されます。

・WX_INTERVAL<分>

WXビーコンの送信間隔を<分>に設定します。このスケジュール設定は保存されませんので、UI-VIEW32を再起動した場合にはキャンセルされ、「Main Screen」→「Setup」→「WX Station Setup」で設定した発信間隔にもどります。

11-4. Download APRS Sever List <図73>

このユーティリティーによりインターネットサイトから最新のAPRS-ISのリストをダウンロードすることができます。

貴局がダウンロードしたリストは自動的にUI-VIEW32の「APRS Server Setup」設定項に反映されます。また、「¥UI-VIEW32¥Text¥APRServe.txt」に保存されます。(編集可能です。)

[参考]

このユーティリティーを使用するとUI-VIEW32「APRS Server Setup」の現存のサーバーリストは書き換えられてしまいますので注意してください。



<図73:Download APRS Server List>

11-5. History/Telemetry <図74>

指定した局が発信したAPRSパケットの「History(履歴)」を記録できます。「¥UI-VIEW32¥History Lists」フォルダにコールサイン毎に記録ファイルが作成され、保存されます。

また、指定局が発信するテレメトリーパケットを「Telemetry(テレメトリーデータ)」として記録できます。

これらの内容は複数の局に対して機能します。そしてその記録内容は、局毎にウインドウ表示させることができます。

[New] <図75>

履歴を記録する局のコールサインを指定します。

APRS is a registered trademark of Bob Bruning (WB4APR). Copyright (C) 2006 JAPRSX (JF1AJE) All right reserved.